

## 平成21年度(後期)市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」で述べられた ご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部(要約)を紹介します。

**Q** 新庁舎建設について、答申内容では3候補地のうち、自治医大駅西側でということになっているが、そこは民有地であり、土地の取得費からすると自治医大北側の県有地のほうが取得しやすいと思うが、どう考えているのか。

議会は再度、検討するとの報道があるが、今回の答申の位置づけはどのようにしているのか。また、合併協議会では2か所に絞られたのに、今回、それが変更になったのはなぜなのか。

**A** 建設検討委員会において、「まちづくり」「利便性」「安全性・防災拠点性」「実現性・経済性」の観点から評価したものである。また、合併時から都市計画法も変わっており、難しい条件となった場所もあった。建設委員会では様々な角度から公平に「庁舎を建てる」だけでなく「建てない」という状況から、県有地と民有地との取得費についても検討してもらっており、詳細はホームページでも公表している。建設委員会の答申は最大限尊重し、今後、更に議会や多くの方の意見を伺い、それを民意として決定したい。

**Q** 2年前に行政のコンプライアンスとして、下野市職員等の公益通報に関する要綱が制定されているが、2年たって、実際に通報されたものがあるのか。市長にも現場で働いている方々が思いきった仕事ができるように、職員の生の声を吸い取っていただき、より良い行政にしたい。

**A** 個人で相談に来ることはあったが、他人による通報は今のところなかった。コンプライアンス関係では、市民の皆さんにご迷惑をおかけしたが、問題がある事案があった。職員の声については、職員との懇談会を昨年からは実施し意見交換をしており、もう少しで全職員との懇談が終了するところである。そのように、市民の皆さんのためにということで、勉強会方職員とも話し合いをしている。

**Q** 市の施設使用料金について、市民とその他の方で料金格差をつけてもらいたい。

**A** 料金格差を実施することで近隣市町にも波及する懸念もあるため、状況を把握したうえで、検討していく。

**Q** 歩行者専用道路の街灯について、防犯上、朝まで点灯させていただきたい。

**A** 街灯については、朝まで点灯している所と消灯している所がある。これは設置の際、防犯上、農作物への影響などについて近隣住民、地主と調整して決めたためである。ご要望の箇所についても改めて意見を聞いたうえで検討していく。

**Q** 道の駅について、仮に運営していった赤字が出た場合は、税金を投入するのか。また、利益が出た場合には、行政に配分されて入ってくるのか。

**A** 机上での計算であるが、開業後5年目に、売上総利益と販売・一般管理費の差額の営業利益が3,400万円、法人税等を支払って純利益で約2,000万円の黒字と算定されている。第三セクターへの委託管理費と市が第三セクターからいただく施設使用料の差額約1,500万円が市の毎年の負担となるが、国交省から900万円程度の負担金が見込まれるため、最終的に市の持ち出しは600万円程度と想定している。赤字が出たならばということでは、出資比率に応じて補填するという状況になると思うが、黒字になると思っている。ある程度方向性が見えてきた時点で、持分比率に応じて本市でもっている出資株等を放出できればと思っている。市はあくまで維持管理のほうに重心をおき、第三セクターのほうは、ある程度利益を出していただいて、留保制度でお金を貯めていただき、施設の改修等資本の再投下を行っていただきたいと考えている。